

平成29年度通常総会・講演会・交流会開催

平成29年6月14日、松江市殿町サンラポーむらくもで、平成29年度通常総会を開催しました。総会には、三好伸明中国総合通信局部長、閑田英敬中国経済産業局参事官、園山繁島根県議会 IT 議員連盟会長の三氏をご来賓としてお迎えし、会員を始め75名の方の出席がありました。

今回の総会では、平成28年度に係る事業報告と決算の承認のほか、総会の終了をもって、理事と監事の任期が終了するため、新たな役員を選任が議題となりました。



吉岡代表理事会長は開会の挨拶のなかで、今年度 IT 従事者数調べの速報にふれ、県内従事者数が97名増加に上ることを示し、県内産業の振興と雇用の確保に向けて、IT 産業が大いに貢献して行くと決意を新たにしました。

総会は、石碓修二代表理事副会長の進行ではじまり、ご来賓三氏の祝辞を頂いた後、議長には吉岡代表理事会長が推挙されました。

議案の審議では、まず、平成28年度事業報告及び決算報告について、事務局から説明を行った後、採決に入り、議決権を有する多数の賛成で原案どおり、承認されました。



次に役員を選任議案について、事務局から、役員体制を現行どおり、理事11名、監事2名の体制を引き継ぐとともに、役員選任については、現役員を全員重任とすることの説明がありました。

これについて、特段の質疑がなかったため、採決に付され、一人ひとりの役員案について賛成多数で選任されました。

総会開催に合わせ、人材研修講座に多数の従業員を派遣された(株)マツケイ、(株)島根情報処理センター、(株)オプティマの三社代表者に会長から表彰状が手渡しされました。



以上で、総会に付議された案件を議了し、平成29年度事業実施方針及びこれに係る予算が説明され、

15:50 全ての総会の議事日程を終了しました。

総会開催に伴う講演会は、平川正人島根大学大学院総合理工学学科教授をお迎えし、「情報教育で結ぶ地域と世界」と題して講演をして頂きました。平川教



理工学部改組で目指す人材育成
工学部改組で目指す人材育成
工学部改組で目指す人材育成
工学部改組で目指す人材育成

授は、島根大学総合理工学部の改組特に情報系学科の改組の目的、準備状況を詳述されました。総合理工学部だけでなく生物資源学部の改組も検討しており、学生の問題解決能力の向上をめざしていること。特に大学院では、単一の研究科として、理工系学生だけでなく、生物資源専攻学生等、多様な人材との切磋琢磨のなかで、能力を磨くことを特徴としていることを力説されました。また強化されている研究教育スタッフの紹介もされ、スタッフとの連携の仲立ちも可能であることに言及されました。

交流会では、冒頭、役員選任をうけて、理事会議決で代表理事会長と代表理事副会長、また、新たに県西部地域担当の業務執行理事が決まったことが報告され、吉岡代表理事会



長、石碓代表理事副会長、井上代表理事副会長、北村業務執行理事が登壇し、協会活動を活発化して行く決意が述べられました。続いて、来賓の松浦正敬松江市長が挨拶され、小学生のプログラミング教育を開始することに触れ、IT 業界が直面している人材不足に対し、中長期的視点から行政として取り組むことを強調されました。

また、太田史朗島根県商工労働部次長の挨拶では、産業振興の大きな柱の一つとして IT 産業振興を掲げており、今後とも市・産業支援機関と連携しながらサポートして行くとの挨拶がありました。



交流会は、藤間博之しまね産業振興財団代表理事副理事長の乾杯の発声ではじまりました。

席上、島根県が行う「IT WORKS@島根」を今年度受託した(株)学情の瀬戸本執行役と(株)クオリティオブライフの原田プランナーから挨拶がありました。

また、今年度新たに会員社代表となられた、(株)ティーエム21の阿部社長、富士通(株)山陰支社の竹岡支社長、(株)NTT ファシリティーズの周藤島根支店長からそれぞれ挨拶を受けました。

元協会役員でプロジェクトゆうあい理事の今岡さんの指導により久しぶりに島根県民の歌「薄紫の山脈」の斉唱を行い、にぎやかで楽しい宴となりました。

